

事前評価個表

| | | | |
|--------------------|---|--------|------------------------|
| 事業名 | 森林環境保全整備事業（国有林） | 事業実施期間 | 令和 8 年度～令和 12 年度（5 年間） |
| 事業実施地区名 （都道府県名） | （きちゅう） 紀中森林計画区 （和歌山県） | 事業実施主体 | 近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署 |
| 事業の概要・目的 | <p>本事業は、和歌山県^{ありだ}有田市を含む 2 市 9 町に所在する 3 千 ha の国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、和歌山県の中央に位置しており、北は^{きほく}紀北森林計画区、東は奈良県、南東は^{きなん}紀南森林計画区に接し、西から南西にかけては^{きい}紀伊水道、太平洋に面している。内陸部には比較的大きな 4 団地があり、他は各所に点在している。</p> <p>本計画区内の森林面積 85 千 ha に占める国有林野の割合は 3 % と低いものの、国有林野面積の 98% が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源^{かん}涵養機能の一端を担っている。</p> <p>また、本計画区の国有林には、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理する「希少個体群保護林」を 1 箇所設定している。また、自然公園法（昭和 32 年法律第 161 号）に基づき「^{こうやりゆうじん}高野龍神国定公園」等に指定され、自然環境教育や保健休養や森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用される観光資源となっている。このほか、将来の修復用材の確保・供給を目的として、国有林内に現存するケヤキ、クスノキ、クリのうち大径材育成が見込める箇所を「文化財継承林」に設定している。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が 82% と県内の民有林の人工林率 61% に対して高い水準にあるとともに、スギを主体とする針葉樹の森林蓄積の約 8 割が 10 齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再生林が必要な段階にある。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備及び自然環境に配慮した路網整備を実施する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、これら人工林について、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採と造林の一貫作業システムを推進するとともに、路網整備において、現地に適した工種を検討する等作業効率の向上とコスト縮減を図る。また、地球温暖化防止をはじめとした水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p> | | |

| | |
|-----------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 森林整備 更新面積 73ha <li style="padding-left: 40px;">保育面積 870ha 路網整備 開設延長 1.5km <li style="padding-left: 40px;">改良延長 0.16km ・ 総事業費 1,536,512 千円（税抜き 1,396,828 千円） |
| 費用便益分析 | <p>総便益（B） 3,772,243 千円</p> <p>総費用（C） 1,604,946 千円</p> <p>分析結果（B／C） 2.35</p> |
| 森林管理局事業評価 技術検討会の意見 | <p>定量的な費用便益分析の結果及び定性的な評価結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。</p> |
| 評価結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や土砂流出防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 路網整備においては現地の地形や地質に適した工種を検討して実施し、森林整備においても伐採と造林の一貫作業システムなど、現地に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、本事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林資源の現況、路網の整備状況及び森林災害の発生状況を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、本事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p> |

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：和歌山県

施行箇所：紀中森林計画区(和歌山森林管理署)

(単位:千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-------------|---|-----------|-----|
| 水源涵養便益 | 洪水防止便益 | 897,340 | |
| | 流域貯水便益 | 180,034 | |
| | 水質浄化便益 | 770,297 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 791,752 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 132,038 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産確保・増進便益 | 180,097 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林整備促進便益 | 820,685 | |
| 総 便 益 (B) | | 3,772,243 | |
| 総 費 用 (C) | | 1,604,946 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{3,772,243}{1,604,946} = 2.35$ | | |

参考

| | | | |
|-------------------|---|--|--|
| 費用便益比 (i=0.02) | $B \div C = \frac{5,311,504}{1,820,455} = 2.92$ | | |
| 費用便益比 (i=0.01) | $B \div C = \frac{6,429,818}{1,962,197} = 3.28$ | | |

森林環境保全整備事業 紀中森林計画区 事業概要図

【主な事業内容】

| | | |
|------|------|---------|
| 森林整備 | 更新面積 | 73 ha |
| | 保育面積 | 870 ha |
| 路網整備 | 開設延長 | 1.5 km |
| | 改良延長 | 0.16 km |

